

JAPANESE

PAPER—III

NOTE: This paper is of two hundred (200) marks containing four (4) sections. Candidates are required to attempt the questions contained in these sections according to the detailed instructions given therein.

日本語
問題用紙 — I I I

注意：この問題用紙の総点は200満点で、四つの部分に分かれている。
それぞれの部分に詳しく書いてある指示どおりに答えなさい。
和英翻訳を除いて全ての質問を日本語で答えなさい。

SECTION - I

Note : This section contains five (5) questions based on the following paragraph. Each question should be answered in about thirty (30) words and each carries five (5) marks.

(5×5=25 marks)

日本語 (III)

この問題用紙は400点満点で、四つの部分からなっている。

各部分に付いている説明に注意してください。

改の文を読んで、後の質問に答えなさい。

日本には「隠れ里」という伝承説話がある。獺や魚や山菜採りで山の中に入り込む。あるいは、川のト流から都漆塗りのお椀や箸などの食器が流れてくる。川の上流を、そして山の中へ、森の奥へ、どんどん遡っていくと、そこに人の姿がまったく見えない大きな屋敷や人里が忽然と目の前に生じるのであこれが隠れ里である。

日常の人里の世界から離れた隠れ里の世界。しかし、それは超現実的な、まったくこの世から隔絶した異次元の、異世界ということではない。この世界から、歩いてわずか半日や一日の世界であるのだがそこはこの世とは逆さまや、あべこべの世界。パラレル、ワールドとでもいうべき世界なのだ。

これは、私たちが夢とか幻想とか呼んでいる世界のありかたと似ている。隠れ里とは、実は私たちが夜に、寝ている間に似ている「夢の世界」であり、あるいは、夢の世界から言えば、起きて、目覚めているときに見ている「現実世界」という名前の「夢」の世界なのだ。現像と現実の世界の関係も、また同様だ。それらは相互に支え合っている。現実という世界は夢や幻像の世界があるからこそ、現実性があるのであり、リアリティーとは、ファンタジーの乱舞する世界とドア一枚を境い目として、その裏側の「現実」を保証するものであって、もちろん、ファンタジーにも、その世界の有機の現実性は、細部にまで貫かれていなければならないものだ。むしろ、細部において異常なほどに「追真的」であり、「現実的」なのが悪夢や夢魔の世界なのだ。

5. ファンタジーの世界が迫ってくる時どうなるか。

SECTION - II

Note : This section contains fifteen (15) questions each to be answered in about thirty (30) words. Each question carries five (5) marks. **(5x15=75 marks)**

第二部

この部分には各5点の15問がある。
各答えは30字以内書きなさい。

(5 X 15 = 75 満点)

8. 柳深因用「ままだは宮沢豊鏡の海」について書きなさい

9。 作り物語 または 歌物語

www.examrace.com

11。 川端康成 または 大江健三郎

12。 本居宣長 または 林羅山

13。 源氏物語 または 伊勢物語

www.examrace.com

SECTION - III

Note : This section contains five (5) questions of twelve (12) marks each. Each question is to be answered in about two hundred (200) words. Translate Japanese into English and English into Japanese.

(12×5=60 marks)

部分Ⅲ

この部分は5題の質問がある。各質問に約200字以内で答えなさい。日本語の文を英語にし、英語の文を日本語にしなさい。

(12点×5=60点)

21. 日本人は、黙して多くを語らない無口な人間と思われがちだが、行動を起こす前に、その旨を声に出した相手に伝えるのが礼儀とされていることも多い。
22. 少女は、慎重に育てられてきた。育校生になってからでも、学校から帰ってくると、はっきりした行き先と所要時間がわからなければ、外出を許されなかった。
23. 見送りに立っていたママは、ちょっと涙が出そうになった。それは、こんなに生き生きとしてお行儀よく、素直で、楽しそうにしているトットちゃんが、つい、この間、「退学になった」ということを思い出したからだった。
24. The western belief that sparing the rod spoils the child obviously assumes that discipline is good for the child in the long run, and just for the immediate correction of a misdeed.
25. At the time I read this poem, education in English was proscribed because it was the language of the enemy. I heard that there were also certain restrictions on the books that could be carried by students leaving for the battlefield.

SECTION - IV

Note : This section consists of one essay type question of forty (40) marks to be answered in about one thousand (1000) words on any of the following topics. This question carries 40 marks.

(40x1=40 marks)

部分 IV

この部分は40点満点である、与えられている題からどれかひとつ選んで1000字以内で作文を書きなさい。(40点x1=40点)

26. 次の題の中からどれか一つについて、1000字以内で作文を書きなさい。

- ア) 急がば回れ
- イ) メディアの役割
- ウ) 私が感動した人物

| FOR OFFICE USE ONLY | | | | | | | |
|---------------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|----------------|
| Marks Obtained | | | | | | | |
| Question Number | Marks Obtained | Question Number | Marks Obtained | Question Number | Marks Obtained | Question Number | Marks Obtained |
| 1 | | 26 | | 51 | | 76 | |
| 2 | | 27 | | 52 | | 77 | |
| 3 | | 28 | | 53 | | 78 | |
| 4 | | 29 | | 54 | | 79 | |
| 5 | | 30 | | 55 | | 80 | |
| 6 | | 31 | | 56 | | 81 | |
| 7 | | 32 | | 57 | | 82 | |
| 8 | | 33 | | 58 | | 83 | |
| 9 | | 34 | | 59 | | 84 | |
| 10 | | 35 | | 60 | | 85 | |
| 11 | | 36 | | 61 | | 86 | |
| 12 | | 37 | | 62 | | 87 | |
| 13 | | 38 | | 63 | | 88 | |
| 14 | | 39 | | 64 | | 89 | |
| 15 | | 40 | | 65 | | 90 | |
| 16 | | 41 | | 66 | | 91 | |
| 17 | | 42 | | 67 | | 92 | |
| 18 | | 43 | | 68 | | 93 | |
| 19 | | 44 | | 69 | | 94 | |
| 20 | | 45 | | 70 | | 95 | |
| 21 | | 46 | | 71 | | 96 | |
| 22 | | 47 | | 72 | | 97 | |
| 23 | | 48 | | 73 | | 98 | |
| 24 | | 49 | | 74 | | 99 | |
| 25 | | 50 | | 75 | | 100 | |

Total Marks Obtained (in words)

(in figures)

Signature & Name of the Coordinator

(Evaluation) Date